

橘小学校の複合化整備(案)について



名古屋市
令和2年1月28日

本日の内容

I 資料説明

- 1 橘小学校の課題（地域からのご要望）
- 2 これまでの対応
- 3 課題解決の手法と本市の考え方
- 4 学校の複合化についての国の考え方
- 5 現地での複合化整備案(名古屋市の方針)
- 6 工事中の学校運営
- 7 スケジュール

II 質疑応答

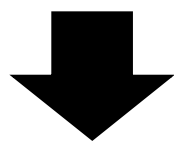


1 橘小学校の課題 （地域からのご要望）

(1) 運動場が狭い

○橘小学校の運動場の面積 ⇒ 約 2 8 0 0 m²

(トラック競技や短距離走ができるよう確保すべき面積の目安：概ね 3 5 0 0 m²)



トラックや 5 0 m 直線走路が
何とか確保できる状況

〔
運動会・体力テストに
一部支障あり
〕



(運動会時、本部テントに近接したトラック)

(2) 体育館（指定避難所）が3階



災害時における避難、地域利用の際に、
高齢者や障害のある方等への負担がある

(3) 児童数増加に伴う教室不足



普通教室は15室だが、児童数の増加により、
特別教室を1室転用している状況である

3階の体育館



2 これまでの対応

(1) 狭い運動場の解消

- ①昭和62~63年：サブグラウンド整備
- ②平成25年：運動場にある鉄棒・遊具の配置見直し
- ③平成28年：下茶屋公園・隣接民有地への小学校の移転検討
➡ 地権者との協議が整わず断念

(2) 3階にある体育館（指定避難所）の改善

➡ 未対応

(3) 児童数増加に伴う教室不足（△1室）

➡ 特別教室の転用にて対応（平成31年4月）

➡ (1)(2)(3)ともに、根本的な解決に至っていない

3 課題解決の手法と本市の考え方

手法1：小学校の改築

◆名古屋市における学校整備の基本的な考え方

①建物(構造体)耐用年数 ⇒ 概ね80年程度まで使用

②施設の老朽化 ⇒ 築年数や老朽化の状況に応じた改修により対応

上記①②は、各学校における施設の老朽化の状況等を踏まえ、必要性が高い学校から実施

○上記の方針から、改築までにはまだ長期間かかる

○敷地が狭いことから、通常の改築を行っても、狭い運動場については根本的に解消できない

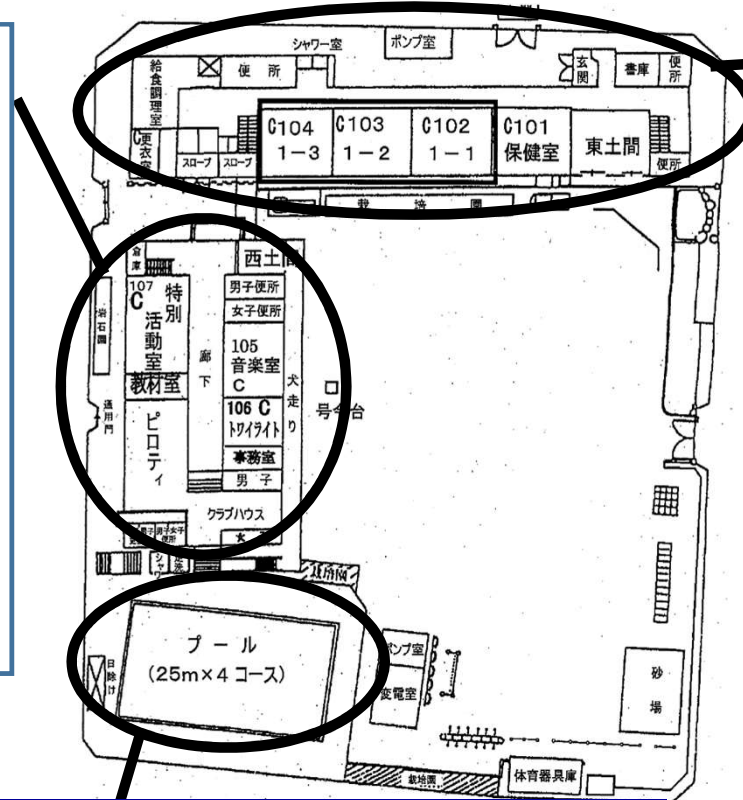
体育館棟(1982年築)

○築50年でリニューアル
改修の対象候補

リニューアル改修内容

(右記校舎棟の保全改修内容の他に)

- ・内装(床、壁、天井)の改修
- ・LED照明への取替え等の設備更新



校舎棟(1959年築)

○大規模改造実施
(1991・1992年)

○築60年で保全改修の対象候補

保全改修内容

- ・トイレの改修
- ・屋上防水・外壁の改修
- ・受変電設備・埋設給排水管の取替など

手法 1-2 : プールを撤去し、その場所に校舎等を増築

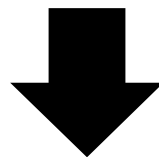


今後の児童数の増加状況によっては、**手法 1**よりは早く整備できる可能性はあるが、**狭い運動場、体育館の位置については、根本的な解決にならない**

手法2：コミュニティ拠点となる学校の実現

橘小学校を、周辺の公共施設（中生涯学習センター・前津福社会館・前津児童館）との複合化整備

「様々な世代の人々がふれあう、学びあう、つながりあう、新たな地域コミュニティの拠点」となる学校として整備



抜本的な対応・整備により、課題であった
「狭い運動場」「体育館が3階」「教室不足」の全てを改善

4 学校の複合化についての国の考え方

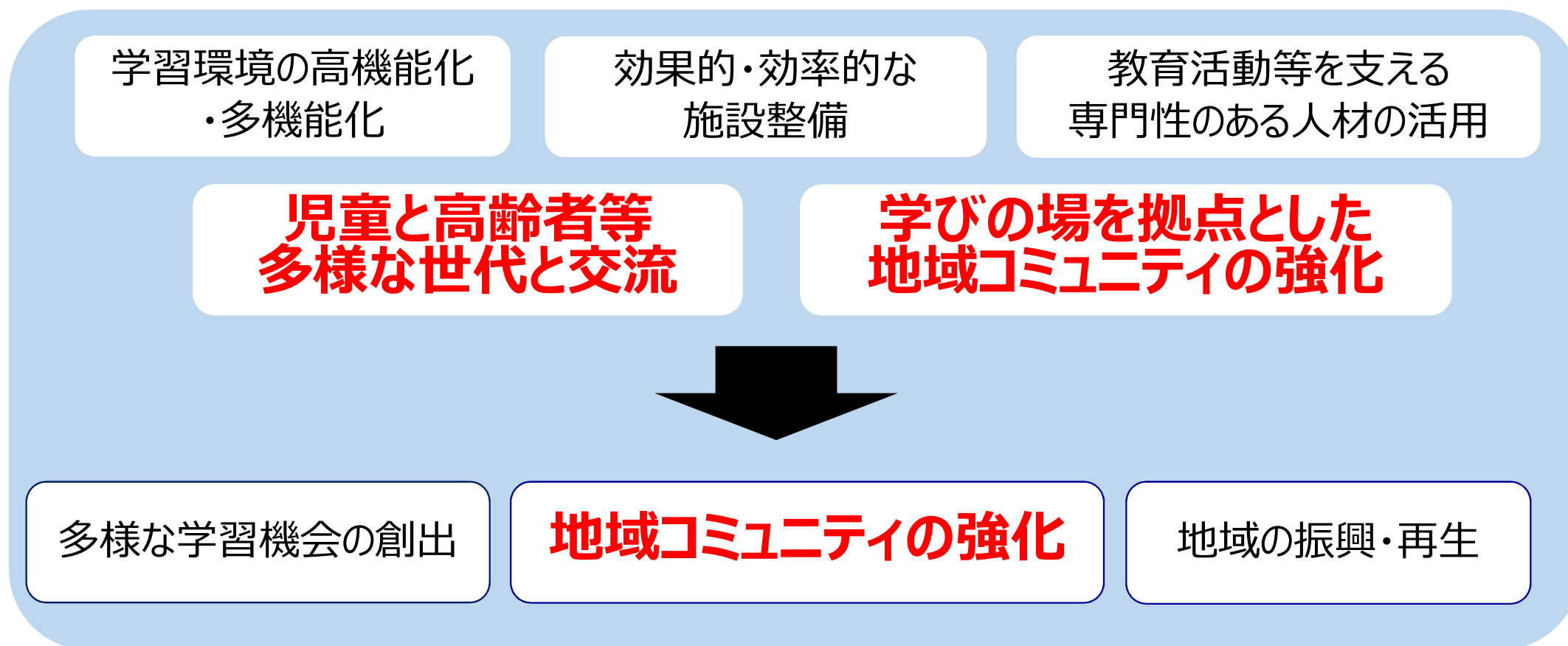
国（文部科学省）の考え方

①教育振興基本計画（平成25年度～29年度）

○学びの場を拠点にした地域コミュニティ形成の推進

➡ 学校施設と社会教育施設等との複合化や余裕教室の活用を促進

②学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方 ～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～（H27.11）



5 現地での複合化整備案 （名古屋市の方針）

①複合化整備の方針

- (1) 歴史ある橘小学校の現地での存続
- (2) 様々な世代の人々がふれあう、学びあう、つながりあう
「新たな地域コミュニティ拠点」の実現
- (3) 避難所機能の充実・強化

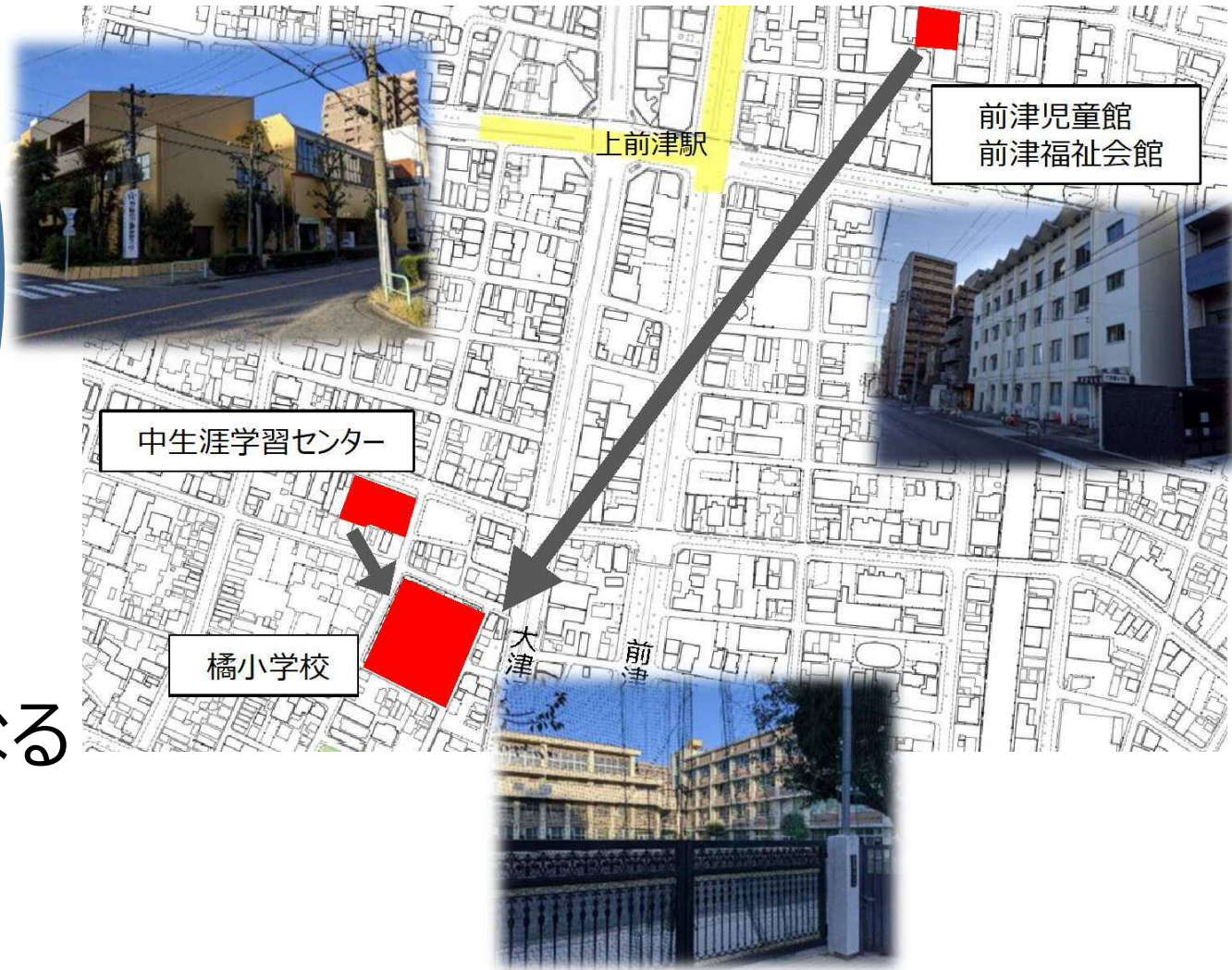
橘小学校の複合化

- ・中生涯学習センター
- ・前津福祉会館
- ・前津児童館



地域コミュニティ拠点となる

新たな小学校を整備



②複合化による効果

ふれあい

- ・施設の相互利用による交流
- ・大人も子どもも使える施設
- ・人が集う図書室
- ・人や情報が行き交う
カウンターや集会室

学びあい

- ・子ども同士の交流から
得る学び
- ・「遊び」「体験」を通じて
子どもと大人がともに学ぶ
- ・連携から広がる大人の学び

つながりあい

- ・世代を超えたつながり
- ・地域のつながり、支えあい
- ・地域に愛され、受け継がれる
コミュニティ拠点

様々な世代の人々がふれあう、学びあう、つながりあう
「新たな小学校 = 地域コミュニティ拠点」の実現

③複合化整備の概要

○校舎を北側に配置

○体育館は地下に設置

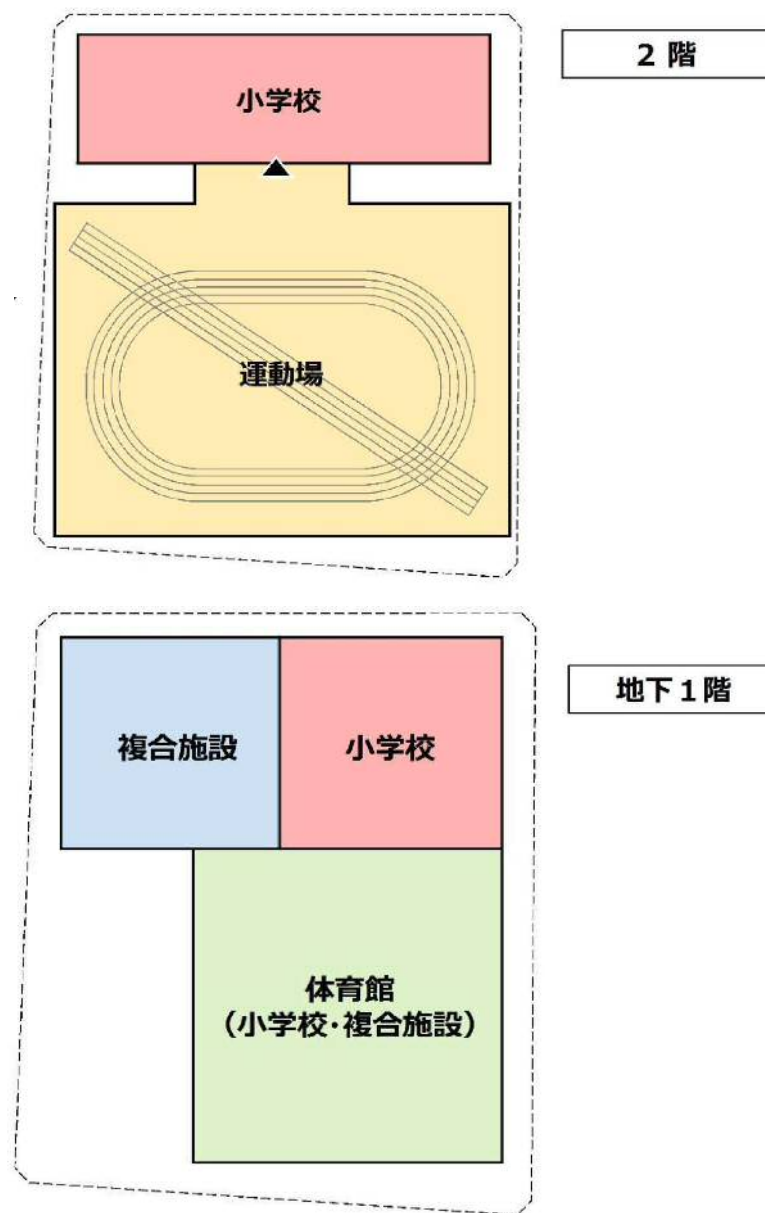
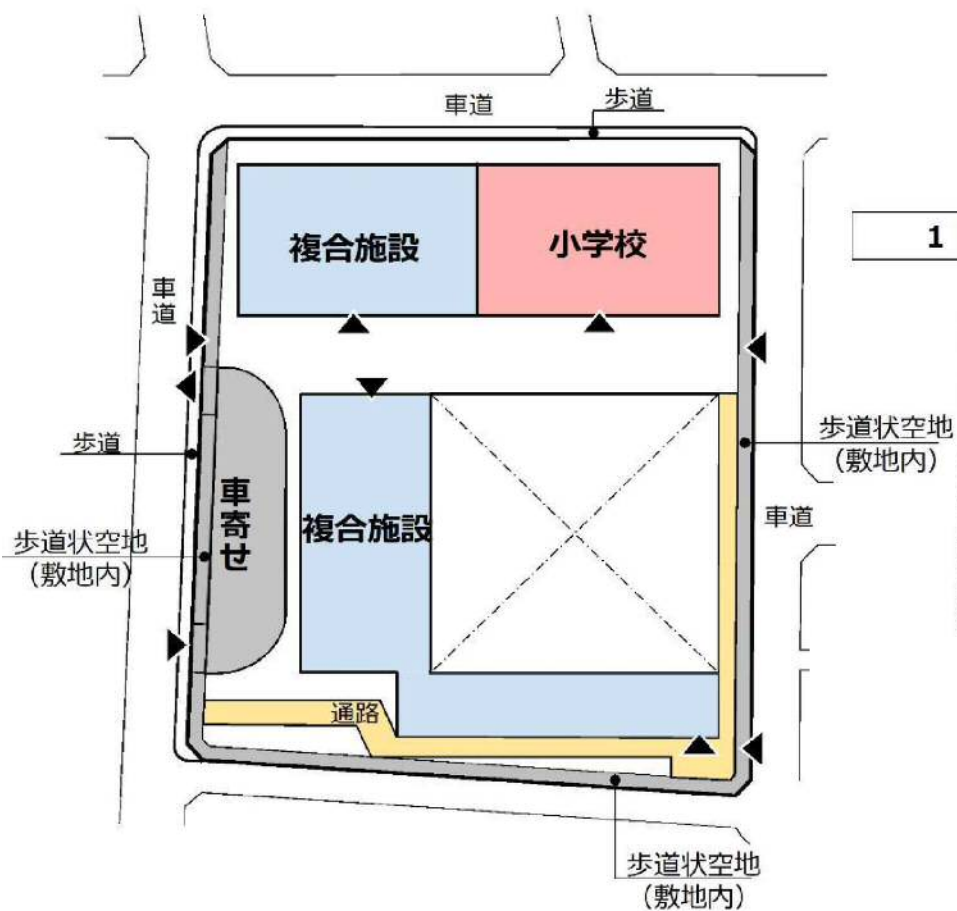
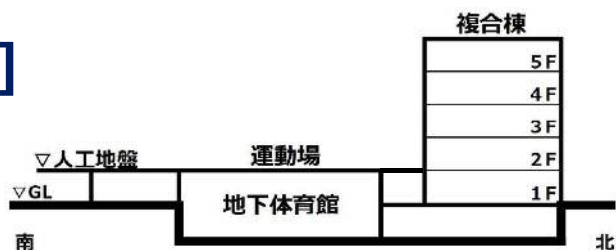
○プールは整備せず、民間プールを活用

○体育館の上部に、現状よりも広い運動場として、
50mの直線走路や120mトラックを確保した
約3500m²（本市の目安）の人工地盤の運動場を設置

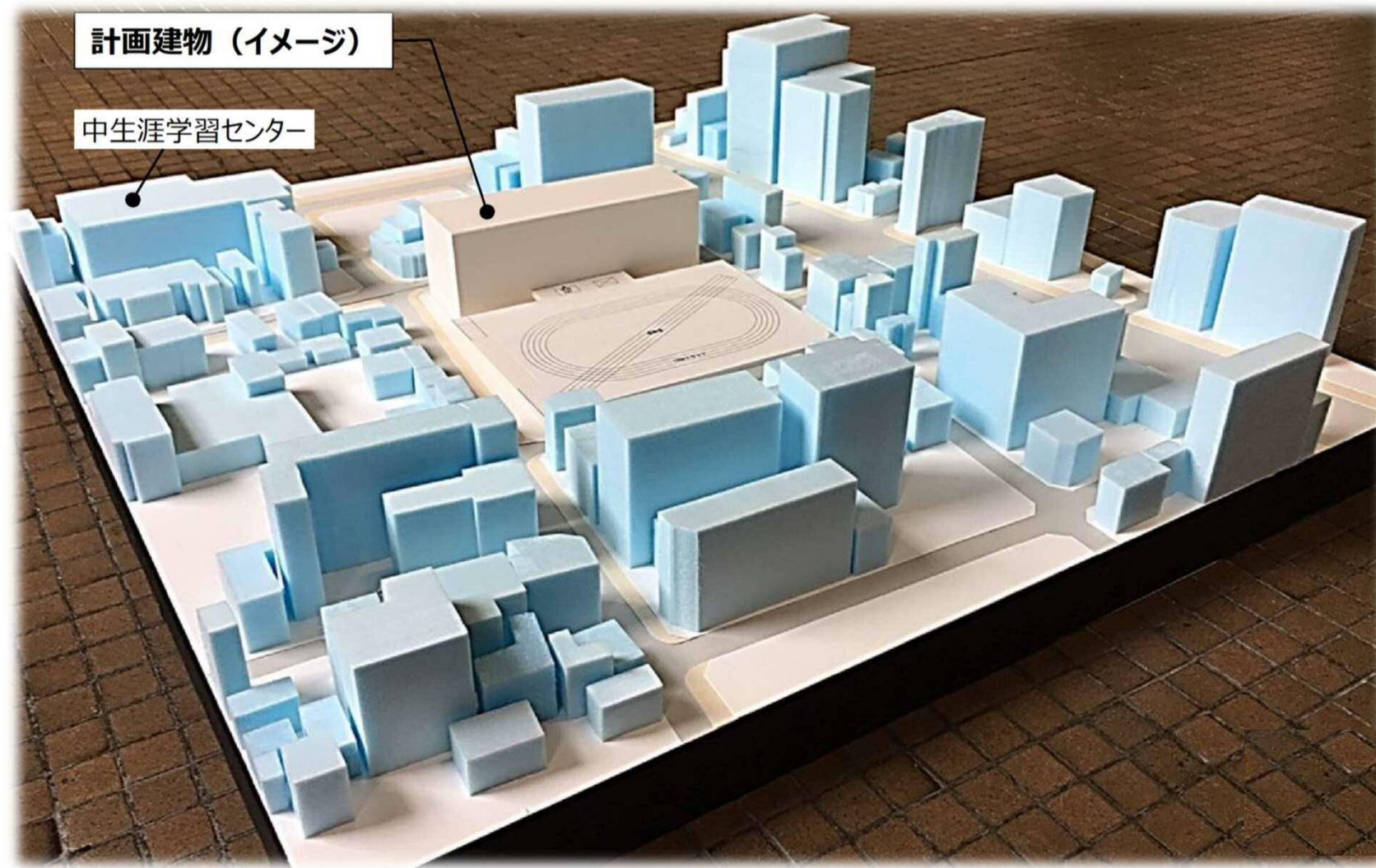
○複合施設は、
北側複合棟 B 1 階・1 階
南側体育館棟 B 1 階・1 階に配置

○防災機能等の強化

[施設配置例]



南西からの施設イメージ



(参考) 住民の方からの提案

工事による周辺環境への影響を懸念し、
以下のご提案をいただきました。

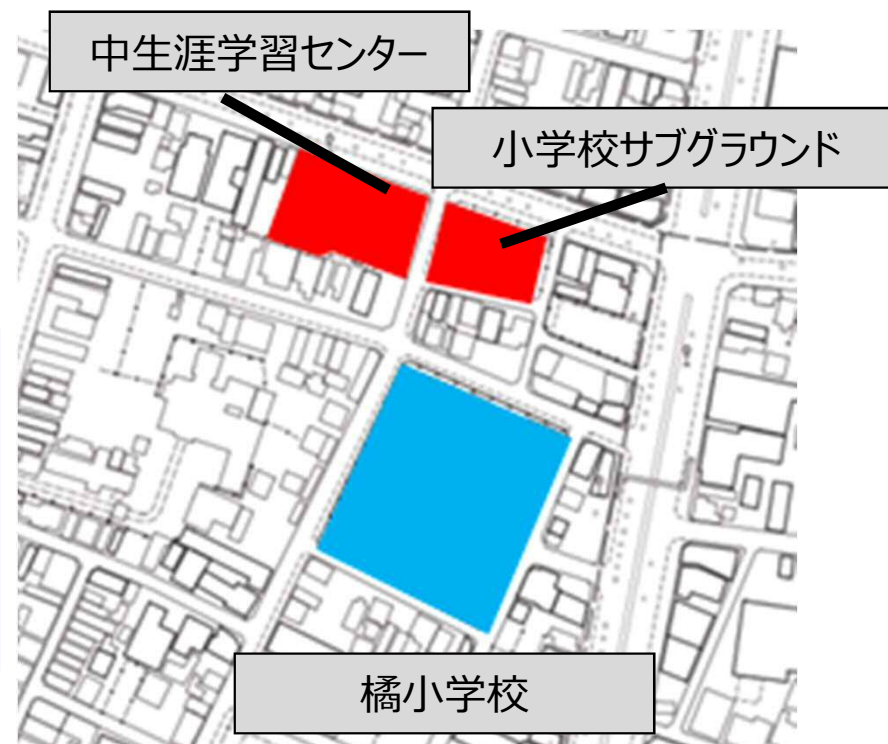
橘小学校と生涯学習センターの複合化

<現在>

- ・橘小学校
- ・生涯学習センター
- ・サブグラウンド

<整備後>

- ⇒ 校舎（教室）＋運動場
- ⇒ 校舎（特別教室）
＋生涯学習センター
- ⇒ 体育館



学校の敷地が飛び地になり、安全面や学校運営の面で支障が生じるため、
実現は困難と考えています。

④複合化整備に対する心配への対応

＜橋小学校の周辺道路の状況＞

＜北側＞



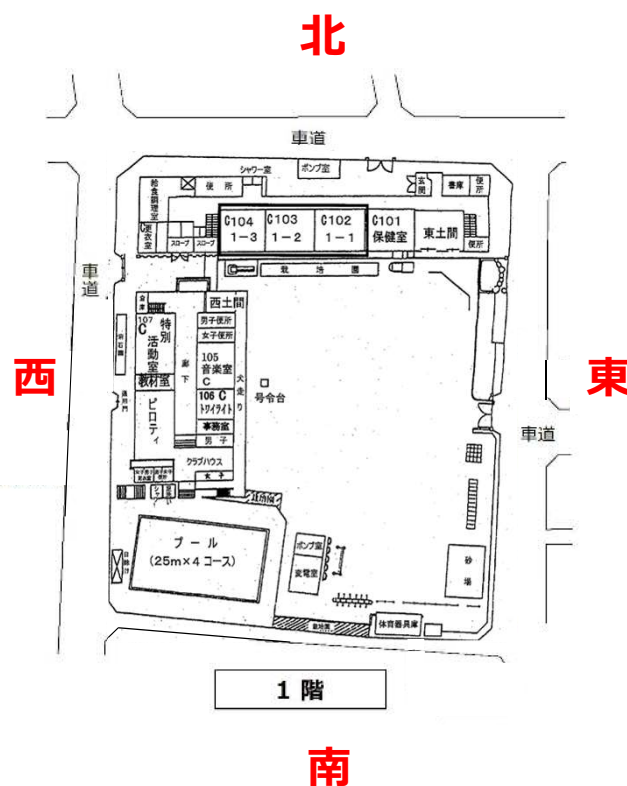
＜西側＞



＜東側＞



＜南側＞



○建物の高さによる周囲への圧迫感

・建物の高さを低くする

〔複合施設を減らす（中保育園を除外）ことで、
当初想定していた7階から5階に〕

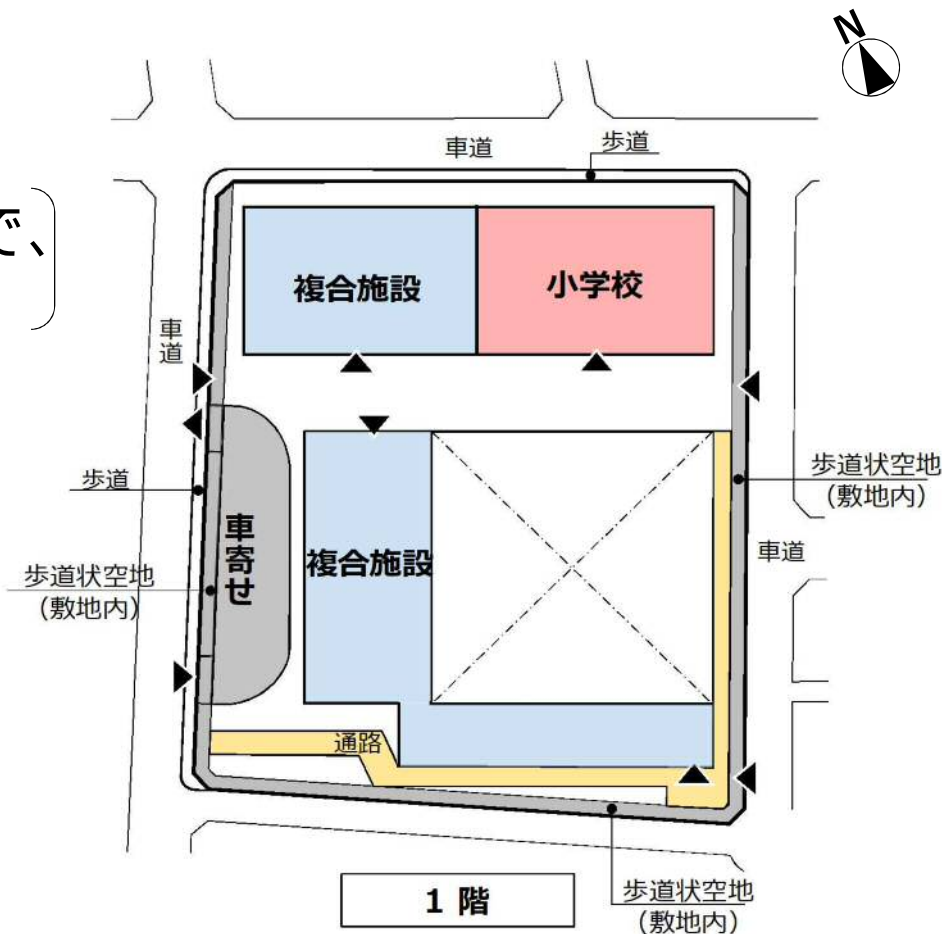
・敷地内に歩道状空地を確保

○工事による騒音や振動等への心配

工期の短縮や騒音、振動等に配慮

○周辺道路への路上駐車への心配

敷地内に車寄せを整備



[児童の安全対策等]

- ①施設内の動線等、**児童の安全対策は十分な検討を実施**
具体的な内容は**今後、保護者や住民の皆さま、利用者と協議して検討**
- ②将来の児童数の増減や利用状況の変化に対応できるように、**柔軟な用途転用が可能となる設計・整備手法**を検討

(参考) 他都市の複合化事例における対応

①各施設の入口、動線を明確に区分



小学校、図書館、幼稚園、保育園等（品川区）

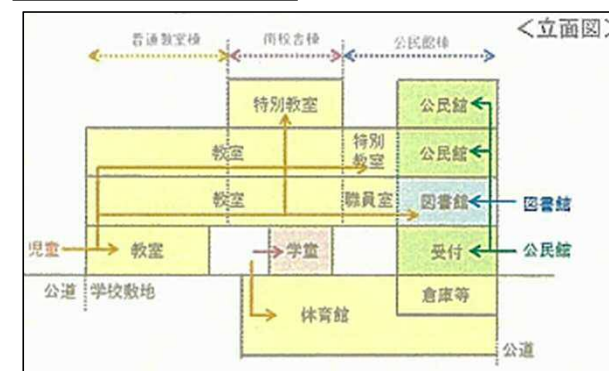
②各施設の入口、動線を区分しているが、各施設からグラウンドの様子を把握することが可能



高齢者福祉施設からは
中学校のグラウンドの様子が見える

中学校、保育所、高齢者施設等（京都市）

③施設の入口は異なるが、明確な区分はほぼなく、図書館などを児童と地域が同時に利用



小学校、公民館、図書館（埼玉県）

6 工事中の学校運営

①工事中の学校運営

①大規模な工事のため、工事中に橘小学校敷地で学校運営を行うことは不可能



②橘学区内には、仮設校舎の建設可能な場所は、唯一、橘公園しかない

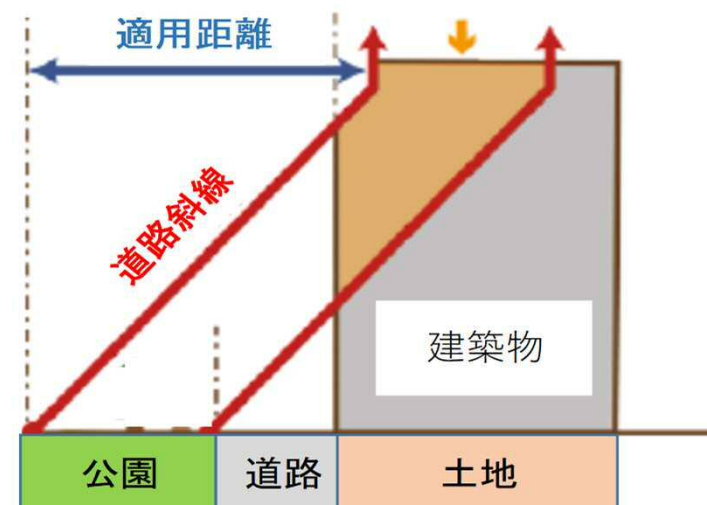


③橘公園に仮設校舎を建設するためには、都市公園としての位置づけを廃止する必要があり、その場合、建築基準法の高さ制限の緩和を受けて建てられた周囲の高層建築物に影響が及ぶため困難

(参考) 建築基準法の高さ制限の緩和

(断面図)

緩和される部分

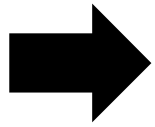


反対側の境界線

道路境界線

(根拠法令)

都市公園法 第6条、第7条等
建築基準法 第3条、第56条等



平和小学校及び葉場公園の利用を予定 (期間：3年間程度)

(参考) 橘小学校と平和小学校の位置関係



②平和小学校・葉場公園を利用した学校運営（案）

- 運動場に橘小学校の**仮設校舎**を設置
- 葉場公園の**グラウンド部分を、第2運動場**として活用
- 平和小学校の**体育館、運動場、プール、図書室等**は両校で共有
- 運動場や体育館の共用方法などは、両校で協議
- 両校の保護者や児童の交流を促進**



③工事中の通学路の安全対策

- 平和小学校までの通学について、学校・P T A・住民の皆さまと協議して、**安心な通学路の設定や安全対策を実施**
- 交通量の多い山王通の横断については、**東別院駅構内や大井町の歩道橋の利用を検討**

(参考) 通学安全対策の事例



住民の皆さまによる見守り活動



通学路練習会の実施



注意標示の設置

④工事期間中の指定避難所



橘小学校以外や周辺学区の指定避難所の使用が可能

現在の橘学区の指定避難所

- ① 橘小学校
- ② 中生涯学習センター
- ③ イーブルなごや
- ④ 橘コミュニティセンター
- ⑤ 美容あいち会館

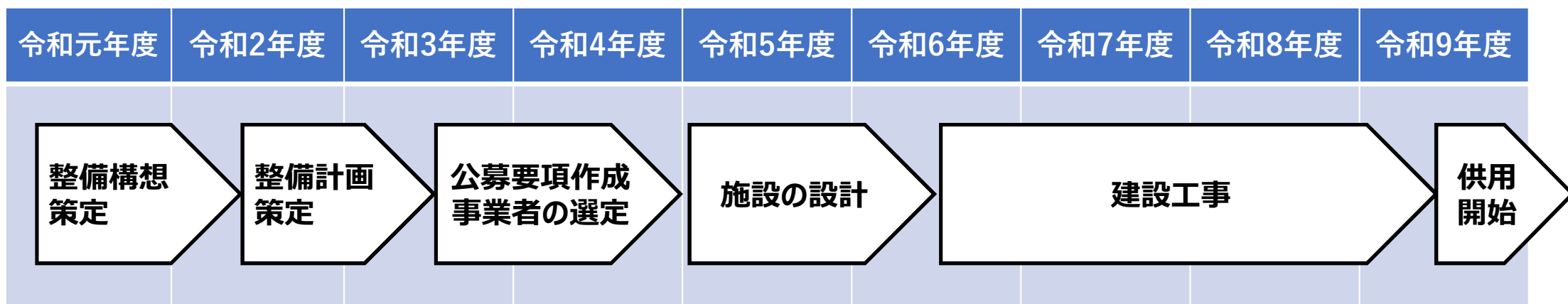
隣接学区の指定避難所

31

学区		指定避難所
中区	松原学区	①松原小学校 ②真宗大谷派名古屋別院（東別院）
	平和学区	①平和小学校
	正木学区	①正木小学校 ②伊勢山中学校
	大須学区	①大須小学校 ②前津中学校
	老松学区	①老松小学校
昭和区	鶴舞学区	①鶴舞小学校 ②北山中学校 ③鶴舞コミュニティセンター ④名古屋市公会堂

7 スケジュール

全体スケジュール（案）

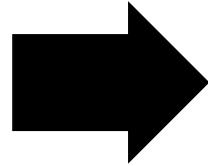


➡ 令和9年度頃の供用開始を目標とし、さらなる期間短縮を検討

今後の進め方

1/28

地域説明会



2月中

橘学区住民の皆さまの
ご意見・ご要望の把握

※学区内に用紙を配布し、ご意見・ご要望を伺います
〔本日の説明会資料、質疑応答の内容を添付します〕



橘学区住民の皆さまのご意見等を踏まえ、
5月頃までに、今後の事業方針を決定

**ご清聴ありがとうございました。
子どもたちのより良い教育環境の確保に
ご理解、ご協力をお願いいたします。**